

SDGs の取り組みについて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs（エスディー・ジーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

弊社での取り組みについて

弊社は、日本児童養護施設財団が行う活動を通じて、全国の児童養護施設に入所している子ども達の支援活動をしております。SDGsの17の目標のうち1、4、10、16、17の項目に該当し2030年の目標達成に向けて推進していきます。

児童養護施設

身体的、性的、精神的な暴力、ネグレクト(育児放棄)、孤児や経済的な理由で、児童養護施設で生活している子ども達が全国で**3万人**もいます。

入所対象者について

1歳以上18歳未満の幼児(満1歳から、小学校就学の始期に達するまでの者)及び少年(小学校就学の始期から、満18歳に達するまでの者)が対象となります。場合によっては20歳まで延長もできます。乳児(1歳未満の者)は乳児院への入所となります。

子どもたちの入所背景について

主に、親からの虐待、育児放棄、経済的な理由、孤児、何かしらの理由により入所しております。

子どもたちの生活について

児童養護施設は、4つの形態で大きく分けており、大舎制(1舎に20名以上)のもの、中舎制(1舎に13人~19人)のもの、小舎制(1舎に12人)のもの、またグループホームがあります。

退所後の生活について

高校を卒業すると同時に児童養護施設を出なければなりません。そんな彼らに待ち受けるものは社会の壁です。保証人の問題、進学、就職、賃貸住宅の契約、敷金等の捻出など解決されていない問題が山ほどあります。現実社会と向き合うために夢などという言葉が口にしなくなります。また支えてくれる大人がいない児童は、悪い大人が近づき身体を売ったり、犯罪に走ったり、精神疾患になり自殺をしたり、ホームレスになることが多いのです。

支援形態

弊社が支援している「あしながサンタ」事業をご紹介します

あしながサンタとは？



本当に子どもたちが喜ぶことは何かを考え立ち上げた“あしながサンタ”

現場職員の私たちが働く中での経験を元に、
 本当に子どもたちが喜ぶことは何かを考えて立ち上げました。
 私たちは2019年8月に全国の児童養護施設（607施設）へ、
 クリスマスに関するアンケート調査を実施しました。アンケート調査により、
 1施設あたり子ども1人に対するクリスマスプレゼント代の平均予算（約3000円）が
 わかりました。そこで分かったのが、どの施設も子どもたちが施設生活を送る上で、
 不自由がない生活を送らせるために、クリスマスの予算を、習い事、衣服費、小遣い、
 ユニット旅費などに、適切に振り分けられていることがわかりました。
 ここに私たちがサポートできることがあると考えました。
 子どもたちにとってのクリスマスは、特別で素敵な1日でなければなりません。

私たち一人ひとりが2000円の寄付をすることで、
 1人の子どもが心から喜びます。
 一緒に子どもたちのあしながサンタになりましょう。

私たちが調査した現場の声

現場の今の状況と世間のイメージには、差があるのが現実です。

2019年4月アンケート実施調査（一財）日本児童養護施設財団 調べ

Q1 クリスマス時期には
どんな寄付がありますか？

お菓子・ケーキなど	44%
おもちゃ	24%
図書券・ギフト券	12%
生活・学校用品	7%
衣類	6%
現金	4%
電化製品・ゲーム	2%
その他	1%

Q2 寄付について、いただくと
困るものはありますか？

中古品は困る or 断る	62%
現物が困る	35%
その他	3%
現金が困る	0%

Q3 寄付について、どんなものが
ありがたいですか？

現金	89%
現物	7%
その他・金券など	4%



全国にある児童養護施設数 **607** 施設 (2019年11月現在)

児童養護施設は、親からの虐待(暴力的、精神的)、育児放棄(ネグレクト)、経済的な理由、孤児、何かしらの理由により子ども達が暮らしている場所です。

2018年度の児童相談所による児童虐待相談件数が**15万9850**件に達しました。
(2018年8月1日現在/厚生労働省調査)



年齢 2歳~18歳
(男女)

入所している子どもたちの人数 約 **32,605** 人 (2019年11月現在)



年齢 2歳~18歳
(男女)

現場職員がサポートしたい所

子どもたちの心の中の『サンタクロース』になること

クリスマスの時期になるとサンタクロースに願いを伝えている子どもを目にします。

「サンタさんお願い! OOの人形がどうしても欲しいの!」

施設で働いていると、入所したばかりの子どもから「何でここではクリスマスプレゼントが貰えるの?」と聞かれることがあります。

入所する前(家庭)では、クリスマスプレゼントを貰えなかった子どもたちが大勢います。だからこそ1年に1回の特別な日に子どもたちが望むプレゼントを届けたいと想いました。

あしながサンタの流れ

STEP
1

弊社

CSR・SDGsの一環として支援をします。



STEP
2

寄付金を振り分ける (あしながサンタ運営事務局)

必要な児童養護施設に振り分けをします。



STEP
3

寄付金を施設へ振り込む (あしながサンタ運営事務局)

振り分けた寄付金は12月20日より、全国の児童養護施設へ振込を開始します。



STEP
4

子どもたちにプレゼントが届く

施設が振り込まれた寄付金を予算にし、子どもたちに希望のプレゼントを届けます。



SDGs へのゴールとターゲットについて

**ターゲット：1.2**

2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。

**ターゲット：4.3**

2030年までに、全ての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。

ターゲット：4.4

2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

10 人や国の不平等
をなくそう



ターゲット：10.2

2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

16 平和と公正を
すべての人に



ターゲット：16.2

子供に対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



ターゲット：17.17

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。